

武蔵野市立北町高齢者センターあり方懇談会報告書について

1 設置経緯

武蔵野市立北町高齢者センターは、昭和62（1987）年にデイサービスと高齢者専用住宅を併設する施設として開設されたが、施設の老朽化、利用者像の変容、子育て支援施設の併設による機能の付加等、開設当初と様相が変化している状況を踏まえ、今後のあり方について検討を行うこととした。その検討に資する意見を聴取し、助言を求めるため、武蔵野市立北町高齢者センターあり方懇談会を令和4（2022）年8月24日に設置した。

2 所管事項

- (1) 高齢者福祉サービスにおける武蔵野市立北町高齢者センターの役割に関する事項
- (2) コミュニティケアサロン（デイサービス）の現状と課題に関する事項
- (3) 小規模サービスハウスエリアに関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

3 委員名簿

	委員氏名	所属
◎	渡邊 浩文	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授
○	久留 善武	一般社団法人シルバーサービス振興会事務局長
	佐藤 清佳	武蔵野市民生児童委員協議会第二地区会長
	田村 晃一	社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会事務局長
	廣瀬 幸子	武蔵野市立北町高齢者センターボランティア
	伊藤 朝子	公益財団法人武蔵野市福祉公社常務理事
	柳野 聡	武蔵野市立北町高齢者センター職員
	石川 久雄	子ども家庭部子ども家庭支援センター担当課長
	山田 剛	健康福祉部長

◎座長 ○職務代理者

4 検討経過

令和4年9月から令和5年2月まで全6回の懇談会を開催して議論を重ね、その内容について報告書を作成した。

5 報告書 別紙のとおり

6 今後について

本報告書の内容を武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定の基礎資料とし、令和5（2023）年度設置予定の健康福祉施策推進審議会の武蔵野市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画専門部会において議論を深め、北町高齢者センターの今後について市の方針を検討する。